

J.S.V.R.

ニュースレター

No.20

2013.10

発行人 日本バレーボール学会
会長 遠藤俊郎
発行日 2013年10月31日
事務局
〒444-0005 岡崎市岡町原山12-5
愛知産業大学 後藤研究室内
TEL.0564-48-4511 FAX.0564-48-7756
E-mail : jsvr@asu.ac.jp
http://www.jsvr.org/

日本バレーボール学会

The Japanese Society of Volleyball Research

巻頭言

バレーボールミーティングの新しい試み

副会長 明石正和 (城西大学)

日本バレーボール学会は、2013年で設立18周年を迎え、再来年には20周年の記念の年を迎えようとしております。このような時期に巻頭言へ言葉を寄せる機会をいただき光栄に存じます。日本バレーボール学会は、毎年1回学会大会、バレーボールミーティングを開催し、研究成果及び研究の交流・情報交換の場として多くの成果をあげてきました。

昨年4月頃、2013バレーボールミーティングを企画委員会より城西大学坂戸キャンパスで開催するよう要請を頂きました。この要請を種々検討後、企画委員会が全面的支援・協力をすることを条件にお引き受けしました。

前々からバレーボールミーティングに関する私案として、各地で開催されている公認スポーツ指導者資格更新義務研修会と連携し開催することが出来ないものかと考えておりました。これを具体化する良い機会だと考え、早速、埼玉県の資格更新義務研修会を主催する埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会に日本バレーボール学会と共同開催が可能かご相談申し上げましたが、現状では、埼玉県体育協会(埼玉県バレーボール協会)の組織下で運営が行われ、埼玉県体育協会へ年会費納入や助成金申請等の財政的課題もあり、実施に向けた環境が整ってない状態であるので、埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会内で少し検討してみたいというご返事を頂きました。

その後、昨年7月16日(月)川越市民総合体育館で会長及び前会長と私で共同開催についての3者会談を行いました。この場で前会長より実現に向けた現実的な対応として、次のご示唆をいただきました。研修会(公認スポーツ指導者資格更新研修会)を2つの組織(日本バレーボール学会と埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会)が、別々の組織で開催する方法であれば理論的に実現可能であるとのことでした。この力強いお話を頂き両組織は、バレーボールミーティング開催に向けた準備を開始しました。

一方、埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会事務局は、埼玉県体育協会と他団体と共同開催するための交渉をねばり強く行っておりました。今年3月下旬、事務局より埼玉県体育会へ他団体との共同開催についてご相談申し上げる形で打診してみました。

埼玉県体育協会は、このような提案は初めての経験であり、中々返事が得られませんでした。この判断を日本体育協会に委ねる雰囲気を感じました。4月中旬、次の連絡が事務局にありました。①日本バレーボール学会との共同開催が望ましい(否定しない)、しかし、②通常、公認スポーツ指導者資格更新研修会を開催した際に発生する日本体育協会(埼玉県体育協会)への助成金申請(補助金なし)はできませんとのことでした。これで、埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会は、埼玉県体育協会の承認を得たことにより共同開催が実現し、標記について日本バレーボール学会と協議した結果、日本バレーボール学会2013バレーボールミーティング(兼)第24回埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会更新義務研修会としました。

尚、参加者は151名で比較的多く、日本体育協会公認スポーツ指導者資格更新申請者は88名で学会関係者は7名で合計95名でありました。バレーボールミーティングは、埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会と共同開催という新しい試みが始まりました。今後、更なる他組織との連携を期待するものであります。